

平成 30 年度 秋サケ河川そ上予報

1 平成 30 年度における沿岸回帰予測

過去の幼稚魚調査の結果と昨年度の年齢別回帰数量から、平成 30 年度の本県秋サケ回帰数量を推定したところ、397 万尾、12,266 トンと計算され、平成 29 年実績を上回る見込みです(表)。

表 平成 30 年度予測値と平成 29 年度実績値

	平成 30 年度予測値	平成 29 年度実績値
回帰尾数 (万尾)	397 (208~526)	241

2 平成 30 年度河川そ上予測

過去 5 年間の平均旬別河川そ上率から、12 月中旬をピークに河川そ上すると予測されます(図)。

各河川の旬別のそ上予測について、別表 1 のとおり平成 29 年度の実績値(上段)、平成 30 年度予測値(中段)、平成 30 年度予測下限値(下段)をとりまとめました。

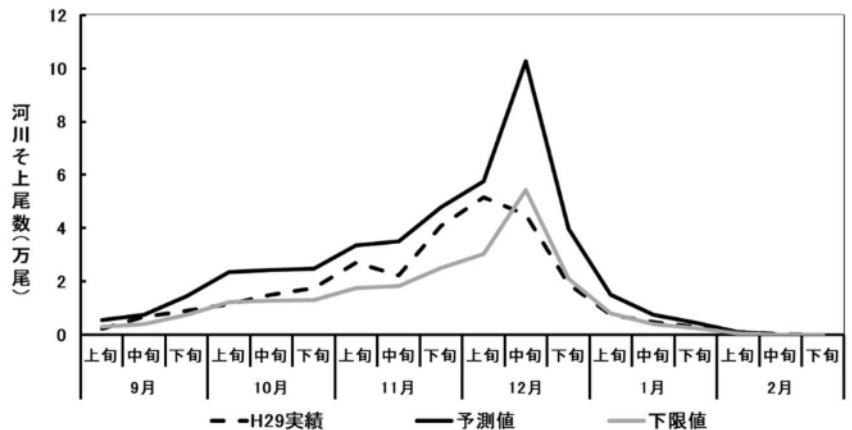


図 平成 30 年度旬別河川そ上予測と平成 29 年度旬別河川そ上実績

3 課題

予測下限値で回帰した場合、河川そ上尾数が 23 万尾程度と予測されます。雌の比率が 50%、雌 1 尾の卵数が 2,500 粒と仮定すると、雌を 70%使用しても 2 億 4 百万粒程度の採卵となり(別表 2)、時期によっては必要卵数を確保することが非常に困難となります。

とくに、10 月中旬から 12 月上旬のそ上尾数が少ないと予測されるため、早期から海産親魚を使用できるよう、漁期前には関係者の協力体制を整えておくことが重要です。